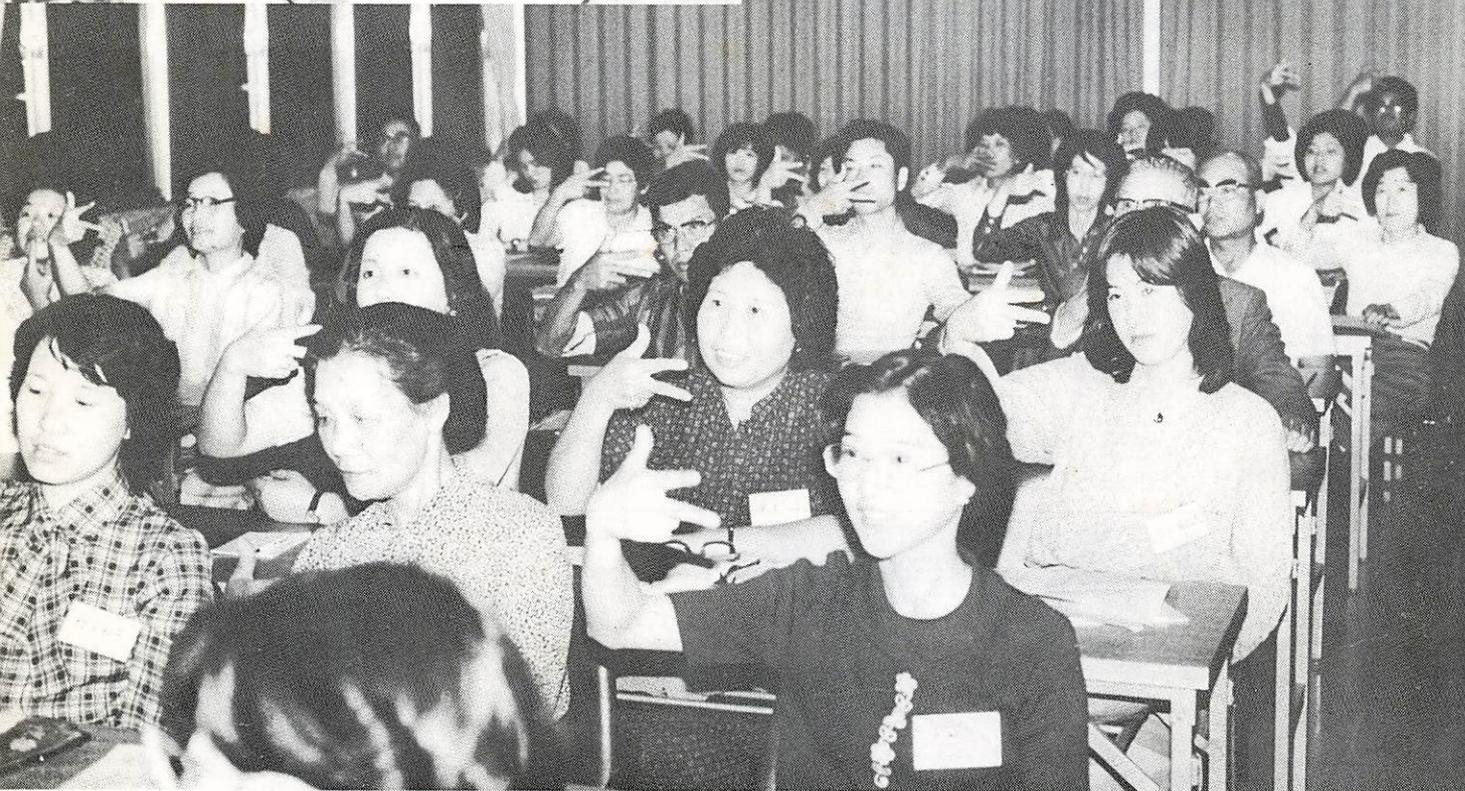




## こうかな？

ろうあ者と心をつなぐ  
手話講習会は盛況



町社会福祉協議会が六月五日から毎週金曜日にかけている「手話講習会」には七十八人が参加して、意欲的に勉強しています。

受講生は中学生から看護婦やおとしよりまでさまざま。

講師は山口手話友の会会員で、約十人がボランティア活動として受け持っています。

講習はアイウエオや数字など基本的な指文字にはじまり、また、授業中には手話による自己紹介などもあり和気あいあいのうちに進められています。

初めのうちはきこちなく指を動かし「こりやあ、なかなかえらいね」とか「指が痛くなるね」などと言っていた人も、回を重ねることに指の動きもよくなり、講師の指先を目と指で追っています。

この講習会は、八月二十八日まで続き、修了後は手話の習得者としてボランティア活動等が期待されます。

(写真上は講師、下はこうかな？とお勉強の受講生)

# 晴れの全国表彰に輝く！

## 阿知須町ジュニア・リーダー・クラブ

### よい子の健全育成につとめる高校生グループ

#### 活動を続けて十二年

#### 県下各地の巡回指導にも参加



レク・ダンス指導中のジュニア・リーダー

本町の高校生でつくるボランティアグループ「阿知須町ジュニア・リーダー・クラブ」の活動が認められて全国子ども会リーダー研修会で表彰されます。ジュニア・リーダーとは子どもたちに近い年齢層のものが、子ども達の健全育成のために指導や助言をしようというのがねらい。現在、県下各地にクラブ結成の気運が盛り上っています。本町のクラブ結成は十二年前の昭和四十四年、釈野純子さんら引野地区の高校生を中心に活動を始めたのがきっかけです。以来、後輩に引き継がれ、現在は町内全域から三十七人が加入しています。

日常生活は子ども会でのゲームやレクリエーション指導、助言、協力などで、本町だけに限らず、県下各地での巡回指導にも参加するなど自主的で積極的な活動が認められ、全国表彰と

なりました。

表彰式は今年二十七日、奈良県で開かれる第十三回全国子ども会リーダー研修集会で行われます。表彰式には会長の秋本泰宏君（山口高校二年）が出席します。

#### 会員のなまえ

- ▽会長―秋本泰宏（浜・山口高）
- ▽副会長―村長正悟（仙在・宇部工高）
- 磯金昌子（西条・香川高）
- ▽広報―伊藤真司（門松）
- 沢田誠（北祝）
- ▽会計―原田義隆（岩上）
- 伊藤紀子（岩上）
- ▽監査―藤重政浩（岩西前）
- ▽書記―河野浩美（北祝）
- 田中恵子（飛石）
- 松本早苗（且北）

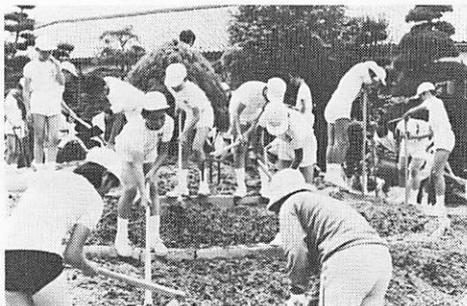
- ▽会員―河村京子（南祝）
- 橋本恭子（小西）
- 村田章（小東）
- 高橋到（前山）
- 秋枝佳子（繩南）
- 平野学（繩北）
- 常盤雄一（浜）
- 繩田真二、松田稔（砂二）
- 西村勇、坂口寿美香、西中香織、浜中実（砂三）
- 田中節子（飛石）
- 上野孝子（岩上）
- 川口満（岩前）
- 辻岡千秋（岩上）
- 藤井かおる、藤井由美子（門松）
- 益弘智子（且北）
- 伊藤隆弘（且東）
- 小倉早苗（赤迫）
- 藤井博己（野口）
- 田中恒清（向井関）
- 釈野卓雄、西橋紀美子（引野）

#### 生徒の意識調査

阿知須中学校の生徒はどんな考えで、どんな生活をしているのでしょうか、同校が昨年、全校生徒に対して行った生活と意識のアンケート調査では次のような数字がでてきます。

（抜粋）

- 家できまった手伝いがあるかないか
  - ある 四五%
  - ない 五三%
  - 無回答 二%
- 毎日平均してどのくらいテレビをみているか
  - 一時間以内 二八%
  - 二時間以内 四〇%
  - 三時間以内 二五%
  - 四時間以内 六%
  - 五時間以内 一%
- 親子でテレビをみることにいつてとり決めをしているか
  - 特別決めていない 八二%
  - 決めている 一八%
- 君は自分の生活の中に目標をたてて実行しているか
  - 決った目標はたてていない 五二%
  - 目標はたてるが実行できない 二九%
  - 毎日、目標に向かって努力している 一五%
  - 無回答 四%
- 自分でやりはじめたことは最後までやりとげるほうが多い
  - 途中でやめることが多い 六一%
  - 最後まできちんとやる 三九%
- 親にあいさつをするか
  - きまつてする 六八%
  - ときどきする 三二%
  - しない 六%
- 公共物をこわした時、きちんとおわびが言えるか
  - 必ず言っている 八三%
  - 言わないほう 一五%
  - 無回答 二%



学校で共同作業する生徒

#### ウソは非行の赤信号

#### わが子の生活態度に注意を

子どもたちが、心身ともに健康でたくましく育ってほしいと思

うのは、すべての親の願いですが、こうした親の気持ちとは反対に、年ごとに少年の非行が増えています。

また、夏休みになると、子どもたちの生活のリズムが乱れ、気持ちゆるみがちで、親の目も届きにくくなります。

# 「社会を明るくする運動」

## 7月22日 本町で吉敷地区大会

「社会を明るくする運動」月間行事の一つとして吉敷地区大会が七月二十二日午後一時から本町の公民館で開かれます。

犯罪防止、明るい地域づくりをめざして、秋穂、小郡、阿知須の三町が持ちまわりで開いているもので、ことは本町の引受け。主催は三町の町長を委員長とする社明運動実施委員会。大会では更生事業や防犯の功労者表彰、犯罪の事例報告、映画をみての討議など予定されています。

### ことしの重点目標

## 住民の連帯で非行防止と更生の援助

七月一日から一か月間は法務省が提唱する「社会を明るくする運動」期間です。

この運動は、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生についてみんなが力を合わせ、明るい社会を築くことを目的としています。

今年の運動の重点目標は、「住民の連帯による青少年の非行防止と更生の援助」。標語は「防ごう非行 助けよう立ち直り」。近年、少年の非行がめだつていふことや、夏休みを控えて学生・生徒の非行の増加が懸念されることもあって「社明運動」の推進により、青少年犯罪を未然に防ごうとする願いがこめられています。

警察の調べでは青少年犯罪のうち十四〜十六歳が六〇%を占めているとのことで、特に女子がここ一年間に二倍にふえているとのことです。

本町では現在、特にめだつような非行は起きていませんが、夏になると町外から出かけてきて、シンナーを吸ったり、単車で暴走したりするものが予測されます。こうした現場をみたらすぐ警察に知らせ大きな事件につながらないようにしたいものです。

## 保護司二十三年 社明運動に思う

「社会を明るくする運動」はこととして三十一回を迎えましたが、この運動とは裏腹に新聞やテレビでは、やれ放火だ、殺人だ、麻薬だ、暴力だ—と暗いニュースが多く、誠に残念です。しかし、このまま手をこまねいていけば世の中はますます暗くなることでしよう。わたしたち一人一人は例え微力でも、明るい社会の建設をめざして努力しあえば道はおのずと拓けるものと思います。

私は保護司を引き受けてこととして二十三年になります。その間、十数名の更生保護に

です。



子どもは、ある日突然非行に走るのではありません。だから子どもの非行防止は、病気の場合同じように「早期発見」が

防ごう非行 助けよう立ち直り  
あなただけの努力だけでは社会を明るくする運動はできません。みんなで力をあわせて、明るい社会を築きましょう。  
第31回「社会を明るくする運動」  
期間 昭和45年7月1日 3日 主催 法務省

## 「規をこえず」の心を

保護司 野上 寛道 (小西)



携わり、幾度か失敗したことはありませんが、大多数の人が立ち直り、今では立派な社会人として活躍しているのを見ると、人は決して真からの罪悪人ではないことが判り心あたたまる思いがします。

孟子は性善説を唱え、釈尊は世人は誰れでも仏心を持っているといわれました。学者は人間の本性についていろいろな学説を説いていますが、私は人間の本性は善なることを信じて疑いません。一方、人間は他の動植物と同様に環

境に支配されて大変変化しやすい、誠にもろい動物的性格をも持ち合わせています。(仏教ではこれを百八の煩惱という) 特に青少年はこの性格が非常にもろいものですから、特

大切です。そのためには、ふだんから子どもの生活をよく注意し、非行の芽を早いうちにつみとることが必要です。

それでは、子どものどういふ言動が非行につながるのか、非行のきざしをいくつかあげてみましょう。

### ウソは非行化の赤信号

すぐわかるようなウソをついたり、親の顔をまともにみないで、あいまいな返事しかしない。成績が急激にダウン

得意な科目の成績まで目みえて落ち、テストの結果もみせなくなる。

親の知らない友だちが増える「なんていう名前なの」と聞く

まわしては自分も傷つき、人をも傷つけることになりま

私は人の性は善なり、人はみな仏心を持っていることを信じ、これをよい環境のもとではぐくみ、人格を高めていけばきっと平和な明るい自由な社会が実現するものと思っています。

これが私の二十三年間、保護司をして得た体験の一端です。この体験をもとに自らの人格の完成につとめ、今後も更生保護事業に微力をささげ、明るい社会の実現につくしたいと思っています。

別によい環境のもとで、よい教育をしなければならぬのです。荒れ狂う馬も静かになりぬらん心の駒の手綱ゆるすなこの歌のように人間にも手綱が必要なのです。これが綱であり、道徳であり、法規です。法規を破って車を乗り

# 献血の輪をひろげよう

## 七月は愛の血液助け合い運動

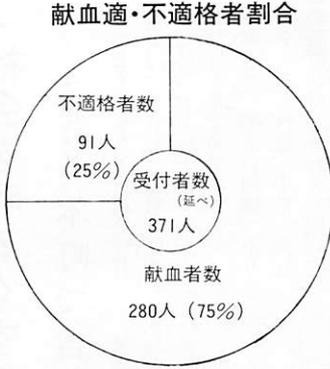
宇宙時代といわれる今日ですが、どんなに科学の粋をこらしても、まだ人工的に血液を造りだすことはできません。病院で輸血を待っている病人に、いつとも早く血液を届けるには、すべて献血に頼るしかありません。

七月は「愛の血液助け合い運動」中でもあります。輸血用の血液が必要なのは、とくに七月に限ったことではありません。例年、夏場は一年のうちで最も血液が不足します。これは、山や海などレジャーに出かける人や、帰省する人が多く、しかも、体力の弱る時期であることなどが献血量の減少の原因のようです。しかし、病人は減らず、夏場は、血液を必要とする病人にとつてたいへん深刻な季節なのです。

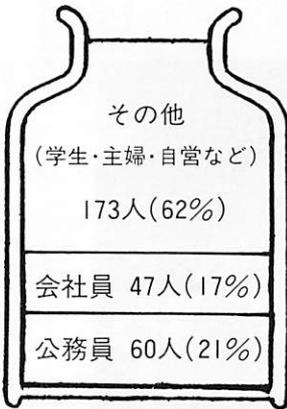
電車の中で、お年寄りに席をゆずると同じように、見ず知らずの人に自分の血液を無償で提供する「まさに尊い行為」といっていいでしょう。献血で心と心の通い合い——あなたの血液が、病人の心に生命の灯をともします。

### 昨年は二百八十人が献血に協力

日赤の移動献血車しらぼと号は年四回来町してみなさんの協力を願っています。昨年の実績は受付者総数は延べ



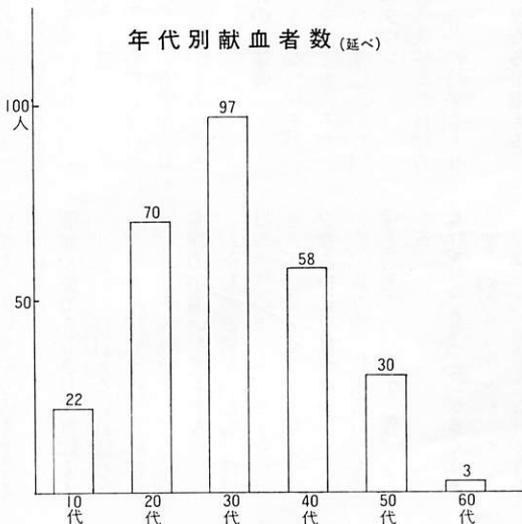
### 職業別献血者数 (延べ)



### 男女別献血者数 (延べ)

性別	人数	割合
男性	128人	46%
女性	152人	54%

### 年代別献血者数 (延べ)



べ三百七十一人 (男一三三五人、女二三六人) で、このうち二百八十人が献血をされました。内訳は公務員六十人、会社員四十七人、その他 (学生・主婦・自営など) 百七十二人でした。

### 八月一日に献血車来町

日赤の移動献血車が八月一日 (土) に来町し、みなさんから血液の提供を受けます。場所は町役場で、時間は午前九時から十一時半までです。みなさんのご協力をお願いします。

ます。

### 採血できない人にも六項目の検査をサービス

献血車が訪れたとき献血を申し出ればわざわざ病院に行かなくても、血液型、血液の比重、血圧など測ってもらえます。しかも、二百cc (牛乳びん一本分) を採血したものは血液型 (ABO式・RH式・その他) 肝機能、梅毒、HB抗原などの検査が行われます。

検査の結果、異常のある人には約二週間以内に通知がありますので、病気の早期発見に役立ちます。

また、せっかく献血を申し出られても血液の比重その他の関係で採血できない三十五歳以上の人には希望により六項目の血液サービスがあります。では、献血できる人としてできない人の区分はどのようなものなのでしょうか、区分は次のとおりです。

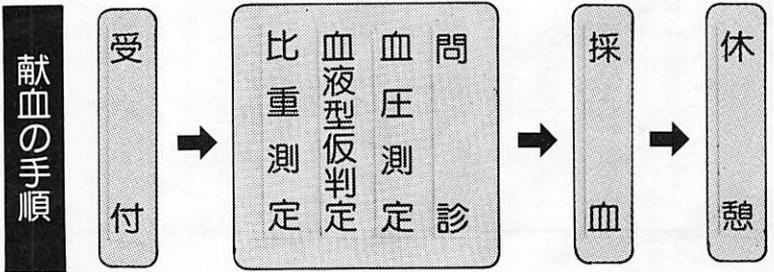
- ▽献血できる人
  - 十六歳以上六十五歳未満の人
  - なら男女を問わない
- ▽献血できない人
  - 一、血液の比重が一・〇五二未満の人
  - 二、十六歳未満および六十五歳以上の人
  - 三、過去一か月以内に輸血の目的で採血された人
  - 四、過去六か月以内に妊娠していた人、また現在妊娠しています。

### 献血メモ

- 五、体重が男四十五キロ、女四十キロ以下の人
- 六、最高血圧が百ミリ (水銀柱) 以下の人
- 七、熱がある人、肝機能障害その他健康状態の悪い人

献血は一回二百ccです。血液の量には個人差がありますが普通、男は体重の約八%、女は約七%といわれています。人間は体内の血液量の一〇%は出血しても日常生活に差しつかえないといわれています。献血の基準に達している人なら一回の献血量は心配なく、車の運転や仕事、入浴など、生活はすべてふだん通りにできます。

※献血の受付から終わるまでの所要時間は15分～20分です。





栄養推進員ペンリレー……⑤

### 時にはさっぱりと 「お茶漬はいかが」

ちよつと手を省いて見ませんか。最近、店頭の食品数も非常に豊富になりました。私たち主婦にとって、やはり献立にはいろいろと考えさせられます。栄養推進協議会では、「バランスのとれた食事をしよう」とのスローガンを掲げており、紙上に再三載せておりますので皆さまもご理解いただけたことと思

ます。

五体の健康維持には食事療法だけでなく、運動と心が伴わねばなりません。何かと複雑な世の中です。心身の疲労や不満がつります。「収入や家計のこと」、「子どものこと」など考えれば考えるほど頭が重くイライラしてることがあるでしょう。ですから時には「ちよつと手を省いて見ませんか」と私はいいたいのです。

日頃こつこつと積りしたものを食べ慣れている私たちですが、時には「茶漬けにこうこう」の献立はいかがでしょう。「茶漬けにこうこう」とは一瞬手ぬきしてと思われまじうが、主婦にとつてこれほど心の休息になるものはありません。心の栄養ではないでしょうか。一例として  
○梅茶漬 熱いご飯の上に梅



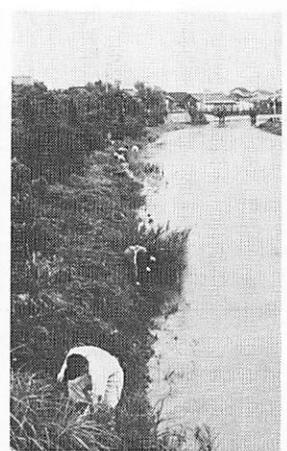
桜井 文子(砂三)

干し、赤ジソを少々刻んでのせ熱い茶をかける。○大根の即席漬け 大根の薄切りに、梅干し、赤ジソを刻んでまぶすだけ。十分もすればいただけます。

### 河川や海岸をきれいに 七月は強調月間

七月は建設省提唱の「河川海岸愛護強調月間」です。

私たちの生活の場、憩いの場ともなる河や海岸をきれいにするとともに、災害の起きないよう



▲川をきれいにしよう

保護し、美しい自然環境の保持にもつとめようとするものです。

汚れた水や水底の汚れる原因となる汚物を流したり、捨てたりしないよう、にしましょう。

### 福増義昭さん(井関)ダブル表彰 社会体育と子ども会育成で

社会体育や子どもたちの健全育成に功労のあつた福増義昭さん(五二)井関・国鉄職員・写真に社会体育功労賞と子ども会育成の感謝状が贈られました。  
☆社会体育功労賞 町の体育



協会理事として社会体育の振興

につとめるかたわら、町体育指導員に委嘱されて十五年、町内の体育行事や地区のスポーツ振興のために企画、立案、実践、後継者育成などに努めた。また五十二年から始めた県民スポーツ総参加運動としてのインディアカの普及にも尽力、私有地を提供しての地域スポーツの日常生活化の方向づけにも功績があつたとして六月二十七日の県体育指導員研修会の席上、県社会体育指導委員連絡協議会から功労賞。  
☆子ども会育成表彰 子ども会指導者としての永年(十五年以上)の功労が認められ六月九日、県子ども会連合会総会の席上で県子ども会連合会長から表彰されました。  
また、奥さんの美智子さんに對しても主人の活動に協力されたとして同会長から感謝状が贈られました。



### 母と子の の会話

「ごっこ遊び」にしろ、ボール遊びにしろ、子どもの遊びには「競争」がつきものです。競争が高じてけんかになることもありますが、社会性が芽生えはじめる幼児期にはよくあることといえます。

それが、幼稚園に通うころになると競争はしても、けんかをするのは次第に少なくなり、遊びを通じて「自分と相手」の相互関係を知る

### 遊びの中の競争心

### 負けた人へのいたわりの心を養う

競争心を燃やす「負けず嫌いのタイプと、自分の得意分野で競争心を持つタイプとがあるよつです。  
いずれの場合にせよ、競争心のある子どもには「相手を打ち負かす」という破壊的な方向で

### 天分をのばし

よくになり、相手のことが理解できるよつになるからです。  
小学生ともなれば「競争社会」に身を置くよつになり、おのずと競争心が芽生えてくるよつになります。このよつな子どもには大きくわけて、すべての面で

なく、競争を「人それぞれに得意、不得意があり、互いに補い合つて協力していく」という建設的な方向にむけていくよつにしたいものです。  
一方、子どもの中には「競争回避型」とでもいうべき子ども

### ぼくの学校 わたしの学校

(阿知須小) 11~12日 宿泊訓練(五年・岡山霊廟)

13日 五年代休日  
16日 学期末保護者会

20日 一学期終業式  
21日 夏休み開始

21~23日 海に親しむ水泳教室(六年・千鳥方浜)

8月1日 全校登校日(井関小)

14日 集金日

8月4~5日 宿泊訓練(五年・秋芳少年自然の家)

17日 学期末保護者会、貯金・保険納入日

20日 終業式  
22日 ソフト・バスケット・野球・バレーボール選手権

23日 卓球選手権  
26日 柔剣道・相撲選手権

8月1日 全校登校日

2日 郡体育大会



### 阿知須短歌会

# はりきってまじ グループ紹介

## 短歌

浜 石田サグ子  
洗いても糊のぬめりのとれぬ手に  
遅き夕げの米をとき居り

浜 正司ウメノ  
手術して癒えざる吾にわたりく  
祭大鼓を臥床より聴く

小東 松尾 君代  
売出しのマーチに歩調の合いて  
居り思ひわすらうことの多き日に

源河 三吉 琴  
葉桜の下風通り良くわが母は麦

「ふれあい広場」はみなさんのページです。  
町政への提言や身近かな話題、絵画、写真など町企画室(有線二四一)へお寄せください。

### 家族的雰囲気

私たちの阿知須短歌会は昭和三十一年四月結成以来会員の月々の作品を町広報紙に載せて頂いています。昭和四十四年には会員自選の短歌を集めて小誌歌集「あじさい」を創刊、このたびその第七巻を作り得ました。この歌集巻頭の言葉「あじさいに寄せて」によれば『あじさい』それは小さな花の集り、阿知須を愛する仲間たちにとって、あじさいは「阿知須愛」であり、心の苦しみや悲しみ、そして喜びを、歌で彩る仲間たちにとって、あじさいは又「阿知彩」と

もなるであろう」と記しております。これからも私たちはこの信条をもって、世界に類を見ない民族文学といわれる短歌をふる里の文化活動の一つとして続けてゆきたい所存であります。講師を招き家族的な雰囲気での会を進めていきますので、なだでも気軽に参加されることを希望しております。(阿知須短歌会 松代二郎・記)



会員は現在四十歳代から八十歳過ぎまで十数人。会員全員の作品は毎月の「広報あじさい」で発表しています。

の芥を叩いて居たりき  
且東 木原百合雄  
曲阜のやえすいのほりに眠ります  
ますえんじゆの木蔭孔子の碑

飛石 砂村ヤス子  
二人して遅風呂に来る息子等の  
車の音に燈りをつけむ

小西 藤重アヤ子  
十七夜祭の仕掛花火を夫と見つ  
つ遠くに住まう子等を思はゆ

小西 平海アサノ  
墓苑に一人詣る昼の道みかん

の花の香りただよう  
砂三 渡辺 宮子  
柚人の焚火のあとの石組に檜木  
燃え残り苔の生えそむ

砂三 桜井 文子  
ミシン目を一目盛り上げてためし  
縫ふ夏物の季節めぐり来にけり

南祝 長谷川さつき  
朝もやの中駈けゆく幼等のかけ  
声高くこだまがcaえる

北祝 原田 双恵  
なお吾に母のあればと思ふなり

和服姿の老婦見かけて  
砂一 沖見屋二郎  
愛したる短歌おしみて無念の朝  
鶏声ききつつ筆をとりをり

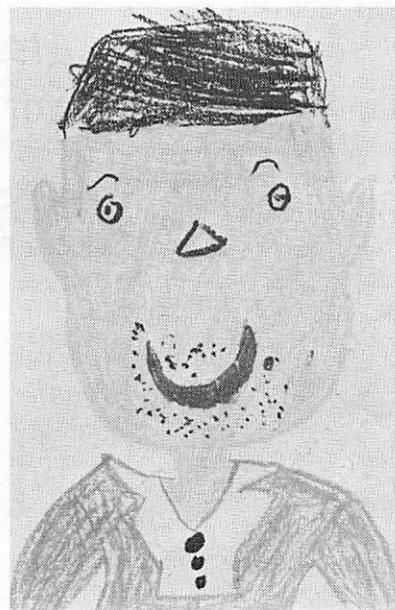
岩西 中本 幸枝  
既製服ばかり着ている孫のため  
小さき甚平と腹当を縫ふ

河内 師井 泰枝  
宿坊の夜半のしぐれは窓を打ち  
同行と明日を気遣ふこは高野山

源河 村井 薫  
やはらかに葉を開きたる蓮宗の  
雲落して飛ぶ鳥のあり

### 「ぼくのおとうさん」

砂郷保育園  
かなざわしんじ  
(五歳)



### なまの音楽に魅了

県青少年劇場

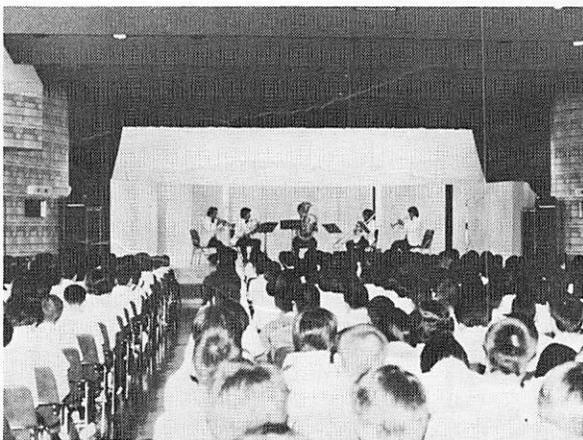
県教育委員会主催の山口県青少年劇場「東京金管五重奏団演奏会」が六月三日町公民館で開かれました。

楽器や曲の解説を聞きながらの音楽鑑賞は大きな刺激となったようです。(写真はなま演奏に聴き入る生徒)

この会には、

町内の小学六年生と中学生全学年五百八十人が参加、トランペットやトロンボーンなど金管楽器の響きと美しいアンサンブルに聴き入りました。

日ごろなまの音楽に接する機会の少ない生徒たちにとって、

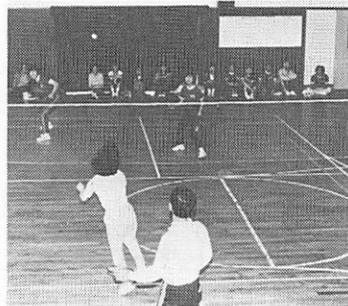


### 町内バドミントン大会 砂郷Aチームが優勝

第二回町内バドミントン大会がこのほど阿知須中学校で開かれました。

大会には十八チームが参加して熱戦を展開。その結果、優勝は砂郷Aチームに輝き、第二位は寺浜、第三位は東条の各チームでした。

(写真は熱戦中の選手)



### 小さな親切運動の実践 看板であき缶追放を

阿知須はってんクラブ

町内の実業家グループ・阿知須はってんクラブ(西中正実会長ほか二十五人)はこのほど町内五か所に「あなたのマナーに拍手を あき缶追放運動の町」と書いた看板を立てました。

同クラブはこのほど社団法人小さな親切運動本部の山口県支部に加入したのを機に、その実践活動として、空き缶のないきれいな町づくりをめざして呼びかけ運動をはじめたものです。

看板は鉄板製。県道、国道の沿線に立てています。

なお、町職員もこのほど小さな親切運動山口県支部に団体加入、現在六十余人が会費(入会費百円、年会費四百円)を納めています。

小さな親切運動本部が提唱する「小さな親切運動」八か条は次のとおりです。

- (一)朝夕のあいさつをかならずしましょう。



### あなたのマナーに拍手を あき缶追放運動の町

阿知須町 阿知須はってんクラブ



区長会の  
初代会長

武永典寿さん(六五)

中村区・商業



六月七日開かれた区長会設立総会で会長に就任。

「今年私が中村区の区長を引き受けておいて、聞く所によると他所ではなんでも区長会という区長の集りがあるそうで、そういうものがあるなら研究してみようと思ったのがはじまりじやったんです。もちろん、私と同じ考えを持っている人のアドバイスも受けましたがね」そして、「町長が区長を集められた

この会の目的、性格は「お互

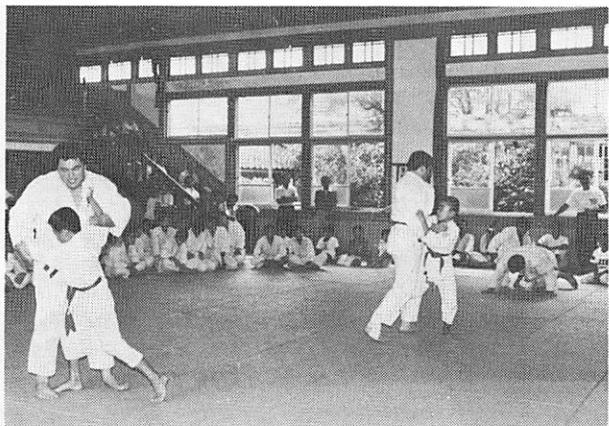
いに横の連絡を取りながら、みんなが仲良く手をつないでやろうということですね。もちろん、自主的運営ですよ」と念をおされた。区長四十二人のうち現在会員は三十八人。しかし、良いことはばかりでなく悩みもあるようで「区長の任期が一年というのがひっかかりますね。一年ではどうしてもやりっぱなしになるような状態が起きがちなんです、何とか二年以上の任期になった方がよいと思うんですがこれは各地区の事情もありますしね。私の理想は二年なんですよ」。

今後の抱負については「早い時機に町執行部との座談会を計画しています。今の会員の任期が来年の三月までで、そのあとに横の連絡を取りながら、みんなが仲良く手をつないでやろうということですね。もちろん、自主的運営ですよ」と念をおされた。区長四十二人のうち現在会員は三十八人。しかし、良いことはばかりでなく悩みもあるようで「区長の任期が一年というのがひっかかりますね。一年ではどうしてもやりっぱなしになるような状態が起きがちなんです、何とか二年以上の任期になった方がよいと思うんですがこれは各地区の事情もありますしね。私の理想は二年なんですよ」。

### 柔道の厳しさを指導 山下5段ら本町で

全日本柔道選手権の5年連続優勝者・山下5段らを迎えての柔道講習会(町柔道協会主催)は6月27・28の両日、本町で開かれました。

27日と28日の午前中には阿知須小講堂で町内外から、大人から子どもまで約250人の柔道選手らが参集。かつての柔道日本一の佐藤宣哉7段、現在5年連続日本一の山下泰裕5段、宇部出身の山根知彦4段(東海大学)の3氏から実技の指導を受けました。また、28日午後には町公民館で、佐藤7段の「スポーツ柔道の歴史や魅力について」、山下5段の「柔道を始めた動機や試合に臨む気持」などの講演があり、会場いっばいにつめかけた聴衆にスポーツと勝負の世界の厳しさを語り感銘を与えました。



▲豆柔道家は大はりきり

